

## 大阪社会人ハンドボールリーグの大会の注意事項と各種情報

### 1. 参加方法、登録などについて

<参加方法、参加チーム及び各年度のリーグ分け・グループ分け、試合日程について>

#### ■参加方法、参加チーム及び各年度のリーグ分け・グループ分け

前年度の参加チーム、事前に連絡のあった参加希望チームの代表者へ、参加方法等についての情報をメールにて送信いたします。前年度の順位を参考に、リーグ分け・グループ分けを行います(新規参加チームは昨年度参加チームの最下位チームよりも下の順位として扱います)。各年度のリーグの参加チーム名は、連盟ホームページへ掲載いたします。

※リーグに参加していないチームで、翌年度以降のリーグに参加したい場合は、メールにて連盟までご連絡ください。

#### ■試合日程について

参加の意思表示のあった各チームに別の大会等の予定についてのヒアリングを行ったうえで日程案を作成し、チーム代表者にメールにて確認を取ったうえでその年度の試合日程を決定いたします。決定した日程は、連盟ホームページへ掲載します。例えば、別の大きな大会(例えば全国規模で実施される大会等)への参加が有った場合、連盟側にて日程の再調整を行います。できる限りご協力ください。

#### ■代表者の連絡先について

リーグ開始前の調整だけではなく、後述の棄権対応などの日程調整時など、連盟から連絡を取る際に使用します。必ず連絡がつくメールアドレス、電話番号をご連絡ください。連絡先の変更、代表の変更などが有った場合は速やかにご連絡ください。一斉メール送信時は**BCC**にて行うなど、原則個人情報の流出は無いようにいたします。ただし、棄権時の調整時等、他のチーム代表者へ個別にお伝えすることも発生する場合がありますこと、ご了承ください。

<各部のチーム数と入れ替えルールについて>

#### ■部数ならびに各部のチーム数

男子の部はこれまで1部～3部の3部制でリーグ運営を行って来ましたが、部数ならびに各部のチーム数は年度ごとの体育館使用可能日数などから決定します。また、女子の部、シニアの部でも、状況によってはいくつかの部に分けて実施する場合がありますこと、ご了承ください。

#### ■各部の入替条件

入替戦の有無含めた入替条件は年度ごとに決定し、その年度のリーグ開始日前後にホームページに公開いたします。ただし、上位チームの次年度の出場辞退等で、繰り上げて昇格になる場合や、降格になるはずが残留になる場合もあります。

<リーグ戦における順位の決定方法>

リーグ戦においては、

①勝ち2点、引き分け1点、負け0点としたときの合計点数

②①が同じ場合は棄権の数

③②が同じ場合は棄権した相手チームを除く総得失点

④③が同じ場合は棄権した相手チームを除く総得点数

にて順位を決定します。

### <参加費について>

#### ■参加費の金額

参加費の金額は、各年度の体育館の使用可能日数、参加チーム数から算出した金額といたします。

#### ■参加費の支払い方法

連盟指定の銀行口座へお振込みください。銀行口座の情報は、代表者へメールにて送信いたします。その他、現金、PayPayでのお支払いをご希望の場合は、ご相談ください。

### <メンバー表について>

■大会申し込み後、連盟ホームページの専用フォーム、もしくは連盟ホームページに公開するMSWord、PDF形式のファイルをお使いいただき、大会開始までにメールにてご提出ください。同一カテゴリーの2重登録(出場)は禁止とします。

例)男子のリーグについては、部などが異なっても不可。男子・男子シニアのそれぞれ1チームに限定した2重登録ならびに出場は可。

### <傷害保険>

#### ■大阪ハンドボール協会にA登録するチーム

→スポーツ安全協会の保険に加入下さい、保障範囲が広いです(りそな銀行窓口にて受付)

#### ■社会人リーグのみ参加のチーム

→保険を斡旋します。連盟までメールにてご連絡ください。

■その他の傷害保険(学校など)に既に加入の場合は必要ありません。

## 2. 各チームに依頼している各種役割について

### <オフィシャル・審判について>

■オフィシャル・審判に当たっているチームは、定刻通り試合が開始できるように務めてください。

■試合結果の集計に利用するため、スコアシートは正しく記入してください。リーグ終了後の集計時に勝ち点と同じとなり、得失点差などで順位が決定することが毎年発生します。各試合の勝敗だけではなく、得点も重要な記録となりますので正確に丁寧に記入をお願いします。

### <会場責任者について>

■会場責任者は、円滑な試合運営の管理と指導を行って下さい。また、連盟所持のデジタルタイマーは持ち帰りが必要です。連盟から持ち帰りの依頼があればご協力をお願いします。

■会場責任者に割り当てられたチームは、ゴミ拾いを行うことで会場を清潔に保つとともに、安全・円滑に試合が行えるように会場の管理をお願いいたします。

■事故や救急搬送を要するような怪我人の発生、チーム間のトラブル等が発生した場合、その対処と事務局への報告をお願いします。

■その日の最初の時間帯の会場責任者は、遅延なく試合が開始できるように、その試合の対戦チームと協力して会場の準備をお願いいたします。

■その日の最後の時間帯の会場責任者は、試合終了後片付けが完了、忘れ物の確認が終わったうえで、帰って下さい。

■忘れ物は会場責任者が持って帰った後、連盟に連絡下さい。後日忘れた人から連絡が入った場合当日の会場責任者に問い合わせて対応します。更衣室、トイレの洗面所にも忘れ物が多いのでご注意ください。

<各グループ事務局(世話役)について>

当面は無しとします。

<スコア報告>

当面は無しとします。スコアシートの内容を基に、連盟にて集計いたします。

3. 会場利用に関する注意事項について

<会場の注意事項>

■喫煙について

長居公園内は、原則禁煙です。連盟側では喫煙は許可しませんので、個人で判断して対応して下さい。

■松ヤニの使用について

本リーグにおいては、北練習室、千島体育館は使用禁止です。南練習室は使用可能です。

■倉庫内について

倉庫内に私物を置かないでください。

■シューズについて

土足での体育館入場、室内シューズでの室外でのアップは全面的に禁止です。守れない場合は来年度より体育館は借りられないとご理解下さい。

4. リーグ参加にあたり、ご協力いただきたい事項について

<試合運営について>

■チーム代表者は、割り当てられている試合の審判／オフィシャル(記録、計時、得点板)を各チームのメンバーと協力し、時間厳守で行って下さい。進行が遅れる場合、その日の最終の試合に影響します。※前の試合との間を5分間とるのではなく、定刻に試合が開始できるように調整してください。なお、前半と後半の間は10分間としてください(10分経ったら後半が開始できるように運営してください)。

■会場の準備(ゴールネット、ベンチ、オフィシャル席、得点板)は、その日の第1試合の開始時刻までに、第1試合該当チーム、オフィシャル・審判、会場責任者のチームで協力して行ってください。ヨドコウ桜スタジアムは、ゴールは常設(出したまま)です。

■最終ゲーム終了後、最後の試合に当たっているチーム、オフィシャル・審判、会場責任者のチームで協力して片付けを行ってください。棄権などで、後続の試合が中止になっている場合があるので、放置しないように会場責任者とチーム代表者で注意して対処して下さい。

■最終試合後にゴミが残っていると片付けのチームの負担が増えます。自分が出したゴミはモチロン、ゴミに気が付いたら処分し、一人一人が会場を清潔に保つように心がけてください。

<棄権について>

■棄権は相手チームの試合の機会を奪うこととなります。5人でも試合は成立しますので、必ず会場まで来て試合をしてください。棄権した/する場合でも練習試合という形でもプレーができます。

■どうしても棄権が回避できない場合は、必ず前日正午までに連盟宛にメールにて連絡すること。当面は原則連盟にて調整を行います(状況によっては調整を依頼する場合があります)。棄権連絡をしたからといって、全員が会場に来なくてよいわけではありません。棄権による影響で審判が不在のゲームが発生する場合(棄権しない側が担当している場合、試合時間を調整せざるを得なく、オフィシャル・審判が不在になった試合など)など、該当する試合のオフィシャル・審判をしていただく必要があります。

<救急搬送が発生した場合について>

- プレー中の怪我などで救急搬送が発生した場合、怪我人が所属するチームを中心に会場にいる人が協力して対応してください。
- 体育館の管理人室から救急車を呼んで頂くことが可能です。管理人室から、報告書の提出を求められますので、各チームにてご対応願います。

5. ルールについて

原則、[日本ハンドボール協会公開の競技規則](#)に従います。同協会のホームページで、競技規則等がダウンロード出来ます。良く理解しておいてください。

- 下記ルールは、引き続き採用とします。

- 1) パッシブプレーの予告後、4回のパス(シュート)を上限  
目安として両レフリーでカウントすることを心がけて下さい。

<社会人ルール特別ルール>

- 試合登録人数は無制限に認める。(試合に何人でも出場できます。)
- チームのメンバー全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
- 多重登録は認めない。(リーグ期間中に他チームへの移籍は禁止。)
- 試合時間は 25分-10分-25分 で、延長、PTCは行わない。
- タイムアウト(チームタイムアウト、PT時のレフェリータイムアウト)は採用しない。■エリア内の天井にボールが当たった場合は、最後にボールに触れた選手と反対チームのスローインとなりますので注意。
- 負傷者のコート復帰制限は有りません。3回の攻撃を経た後ではなくてもコート復帰可とします。
- ブルーカードは有りません。報告を伴い別途処分を与える失格は無しとします。
- 上記以外はハンドボール競技規則に従って行う。

6. 連盟の連絡先について

- 連盟メンバーとメールアドレス

代表: 山田勉(堺グランパーズ、CPS)、競技担当: 大西健広(堺グランパーズ、CPS)、広報担当: 松元良平(Martedi、Martedi Senior)の3名で大阪社会人ハンドボール連盟及び社会人リーグの運営を行っております。

[osaka.handball.league@gmail.com](mailto:osaka.handball.league@gmail.com)

宛にご連絡いただくと、3名に転送されるようになっております。